



坂本 詩織

Sakamoto Shiori

2018年4月入社
北稜高等学校 家政科



山口 雅加

Yamaguchi Norika

2021年4月入社
北稜高等学校 ビジネスマネジメント科

山口 朋菜

Yamaguchi Honoka

2021年4月入社
大牟田北高等学校 普通科

※左から 山口雅加さん、山口朋菜さん

次のステップアップを目標に。

Q.今の会社を選んだ理由は？

学校にある情報ベースから企業を調査していく中で、国内トップシェアの生産・販売数を誇るというキーワードに興味を持ちました。また、黙々と作業をすることも好きだったため、ものづくりに関係する職業がいいなと思い、坂本石灰工業所を選びました。地元で就職したことで、学生時代の友達とも気軽に会うことができている。



Q.今取り組んでいる仕事内容は？

食品の保管・除湿のために使われている石灰乾燥剤などの製造部門で働いています。包装機を操作して、製品の品質管理と梱包作業を行っています。乾燥剤は小さなものから大きなものまで幅広い種類があるため、機械を切り替えながら製造しています。

Q.大変なことは？

製造工場なので、1日中立ったまま仕事をしています。入社後しばらくは立ち仕事がつらく、工場内の機械の音も大きいため、環境に慣れるまで3か月くらいかかりました。また、工場内ではみんな同じ作業服に帽子、マスクを着けているので、人の名前を覚えることにも苦労しました。

Q.うれしかったことは？

機械で流れてきた製品をコンテナに詰めるとき、コンテナに袋をかける工程があります。そのかける作業が早くできるようになったことがうれしかったです。製造しなければいけない数量がありますので、どれだけ効率よく動けるかがカギとなってきます。先輩のやっていることを目で見えて覚えて、自分のやりやすい方法を模索しています。



Q.職場の雰囲気は？

年齢層は19～60代と幅広いですが、みなさんやさしくて、質問などもしやすい環境です。

Q.今後頑張りたいことは？

製品の見た目が安定しない時に、製造している機械をメンテナンスできるようになりたいです。メンテナンスまでできるようになると、仕事の幅も広がり、もっと作業効率を上げることができると考えています。そのためにも、先輩たちの姿をよく見て、その技術を自分の身に付けていきたいです。

職種から企業を選択。長く働くために。

Q.今の会社を選んだ理由は？

雅 事務系の仕事に就きたかったこと、地元で就職したいという考えから、いろいろな企業を調べて丸美屋にたどり着きました。

朋 高校では看護の勉強をしていましたが、卒業後就職か進学かを悩み、就職する道を選びました。働きやすさを優先的に事務系の職を探し、料理部に所属していたことから食べ物関連の仕事に就きたいと考え、丸美屋に決めました。

Q.今取り組んでいる仕事内容は？

雅 受注部門の事務を担当しています。取引先などから注文書がデータで入ってくるので、指示書を作成し現場に指示をだしています。

朋 私は請求部門で、主に月末になると取引先へ請求書を作成し送付しています。



Q.大変なことは？

朋 商品数が多いため、コードなどを覚えることが大変でした。また社内の人や取引先などたくさんの人と関わるため、名前と顔を覚えるのに苦労したことを覚えています。コツコツと相手と会話をしながら覚えていきました。

雅 私も商品を覚えることが大変でした。また電話をする機会も多いため、電話対応も最初のころは緊張していました。

Q.うれしかったことは？

朋 一人で取引先からの問い合わせに対応できた時です。請求部門なので、お金が絡みます。金額が合っていない、商品が届いていないなどのクレームにも一人で対応できるようになりました。

雅 トラブル対応ができたときに上司から褒められたのはうれしかったです。

Q.職場の雰囲気は？

朋 女性が多い職場なので、過ごしやすいです。体調不良の時も気兼ねなく相談できるので、安心して働いています。

雅 年齢差を感じさせないくらい、和気あいあいとした職場だと感じています。

Q.今後頑張りたいことは？

朋 高校では看護の勉強をしていたので、事務系の職業で活かせるような資格がとれていません。今後はそういったことにもチャレンジしていきたいです。パソコンも不慣れだったので、パソコンのスキルアップにも力を入れていきたいです。

高校生へのメッセージ

雅 私はビジネスマネジメント科だったので、事務系に必要な資格は高校時代に取得していました。実際に今も役に立っているため、もし卒業後の進路が決まっているならば、今のうちに勉強しておくのもいいかもしれません。





平井 亮

Hirai Ryo

2020年4月入社
玉名工業高等学校 機械科

実践しながら学び、経験を積んでいます。

Q.今の会社を選んだ理由は？

就職先を選ぶ上で、実家から近いことが条件の一つでした。エイティー九州は家から車で5分程の距離にあり、小さい時から慣れ親しんだ会社でした。車関係の仕事であれば将来的にも安定していると考え、高校は機械科を選びました。エイティー九州は、大手自動車部品製造メーカー「アイシングループ」の傘下ということもあり、働くならエイティー九州と決めていました。高校2年生の時にインターンシップで職業体験をしました。1週間ほど現場で作業を体験させてもらい、よりここで働きたいと感じました。



Q.今取り組んでいる仕事内容は？

今は製造ラインの機械をメンテナンスする「保全部署」で働いています。毎日決まった仕事をするのではなく、機械にトラブルがあったらその都度現場へ駆けつけ

て故障等に対応する、臨機応変さが求められる仕事です。機械の仕組みを理解した上で、過去の事例を参考に原因を探ります。経験も大事なので、先輩社員に教えてもらいながら常に勉強しています。機械トラブルがないときは、普段使用する機械のメンテナンス作業や機械の仕組み等を学んでいます。



Q.職場の雰囲気は？

自分が働いている部署では、2つ年上の先輩から、30~40代の方と年齢差があります。保全部署というと厳しい方が多い印象があり、入社直後は怖いイメージがありました。しかし実際に働いてみるとユーモアのある人が多く、年齢差を感じさせない過ごしやすい職場です。

Q.大変なことは？

保全部署は機械と電気の担当に分かれています。入社後1~2年は、広く知識を得



るため、機械・電気関係なく担当していました。しかし、電気の方の人手が足りなくなり、ここ1年は電気専門にメンテナンスを担当しています。基本的に2~3人のチームで動いていますが、チームに欠員が出た場合、1人でトラブルに対応しなければならない場面もあります。その時のプレッシャーは大きいです。電気系統の知識は入社してから勉強しています。今はとにかく経験を積んで、先輩社員の話聞いて仕事に取り組んでいます。

高校生へのメッセージ

高校生の時に取得した資格が役に立っているのは事実ですが、必ずしも高校時代に焦って取る必要もないと考えます。仕事をしながら資格の必要性を知って取得する方が、より身につくこともあると思います。



作本 涼

Sakumoto Ryo

2022年4月入社
玉名工業高等学校 機械科

ものづくりの楽しさを通して 仕事のやりがいを感じています。

Q.今の会社を選んだ理由は？

幼いころからものづくりに興味がありました。自分の手で何かをつくり、完成させた時の達成感が好きです。就職活動の中で、LIXILの企業理念に共感し入社したいと考えようになりました。また、業界トップクラスの住宅総合設備機器メーカーであることも、ここで働いてみたいと感じた理由の一つです。



Q.今取り組んでいる仕事内容は？

現在の仕事は製造のビル加工部門で片引き窓用サッシを製造しています。見学会の時から気になっていた部門で、実際に配属されてうれしかったです。入社当初は、200種類以上の製品を覚えることが大変でした。また、ビル用のサッシになる

ため、製品のスケールが大きく、運ぶのも体力が必要な仕事です。

Q.職場の雰囲気は？

幅広い年齢層の人がいます。また、ベトナムやインドなどからきている技能実習生もいます。言語は違いますが、仕事の話はもちろん、プライベートな話題も気軽に話すことができ、過ごしやすい職場です。

Q.今後頑張りたいことは？

今は片引き窓を扱う部門(Kライン)の「組み立て」というところでリーダーを務めています。私を含め3人のチームになりますが、製造の進捗等を管理しています。今後は3年以内に、Kラインの「班長」になりたいです。Kラインでは20名ほどの人が働いていて、その人たちの進捗を管理する重要な



立場です。班長になるには、今取り組んでいる組み立て以外の部品や加工、切断といった仕事も覚える必要があります。先輩社員からの推薦等で班長になることができるので、たくさん経験を積んで、少しでも早く仕事を覚えていきたいと考えています。

高校生へのメッセージ

社会人になって、コミュニケーションの大切さを実感しています。何事も協力して連携をとらないと仕事が進まないからです。今のうちに同年代だけでなく、幅広い年代の人と会話を積極的にしてみてください。また、パソコンに慣れておくこともおすすめです。報告用の資料はパソコンを使って作成しているので、高校の時から慣れておくことで、社会人になって役に立つと思います。



小松 愛佳

Komatsu Manaka

2022年4月入社
有明高等学校 福祉科

眞弓 はずき

Mayumi Hazuki

2022年4月入社
北稜高等学校 園芸課

※左から 眞弓さん、小松さん

memo

身近な人から、福祉の仕事の「やりがい」を教えてくださいました。

Q.今の職場を選んだ理由は?

眞 私の母は介護士で祖母もケアマネージャーです。二人が大変な中でも楽しそうに働いている姿を見て、福祉の仕事に興味を持つようになりました。高校で3年間学んだ園芸も生かせる職場を探していたところ、きらきらに出会いました。

きらきらの事業の一つである「就労支援センターほし」では、農園芸農作物の栽培やみそ製造等を行っています。一般企業で働くことは難しくても働きたいという意欲をもった人たちにその機会を提供しています。私はそこで、利用者の皆さんと季節の野菜を育て、販売しています。



小 私も母がヘルパーとして働いていました。祖母はヘルパーを利用していて、幼いころから福祉の仕事が身近にありました。将来は福祉関係の仕事に就きたいと考え、福祉科のある高校を選びました。高校の時に実習で障がい児施設を訪れ、障がいのある方たちの支援をしていきたいと考えるようになりました。

スタッフも利用者の皆さんもみんな笑顔で過ごしている様子が印象に残り、きらきらで働きたいと思いました。

私は生活介護の部署にいて、身体的に障がいを持つ方の食事や入浴の支援や、ピースを作る内職を一緒にしたりと、利用者の皆さんの生活を支える仕事をしています。



Q.うれしかったことは?

小 高校の実習では、介護する相手が先生や、友だちなど、予行演習のみだったため、実際に利用者の皆さんに対して食事や入浴等の支援をすることに慣れておらず、うまくできませんでした。マンツーマンで教えてくれる先輩の姿をよく見て、分からないことは聞いて、少しずつ覚えていき、一人でできるようになったときはすごくうれしかったです。

眞 私は、利用者の皆さんからの「ありがとう」の言葉がうれしいです。利用者に対しての関わり方も人それぞれです。短く伝えた方が理解してくれる人、丁寧にゆっくりと説明したほうがいい人。それぞれの関わり方があるため、できるだけ利用者の皆さんと会話をして、その人の苦手なことや得意なことなどを見極めて支援していくことの難しさを実感しました。

Q.職場の雰囲気は?

小 こういった福祉関係の仕事は、3K(きつ

い、汚い、危険)とされていますが、忙しさの中でも、スタッフの笑顔が絶えず、困ったときにはすぐにサポートしてくれるので、安心して仕事をしています。

眞 プライベートなことも話せるような、スタッフ同士はもちろん、利用者の皆さんも含めてみんな仲が良く感じています。

Q.今後がんばりたいことは?

小 利用者の皆さんはもちろん、そのご家族と一緒に働くスタッフに信頼してもらえるような人になりたいです。

眞 私も、信頼、信用してもらえ人になりたいです。そのためには、利用者の皆さん一人ひとりと向き合っ、その人に合った支援の仕方を学んでいきたいと考えます。

小 スタッフ同士でもコミュニケーションをとりながら、自分がやりたいこと、目的・目標を明確にして、日々楽しく仕事に取り組んでいきたいです。

株式会社天水総合カンパニー

総合企画室 室長 築地宏典さん
採用担当歴 約6年



Q.採用試験ではどのようなことをしていますか？

役員・採用担当者による面接と、筆記試験を行います。筆記試験は、一般常識について問う会社独自のものです。接客業ということもあるため、どちらかと言えば面接に重きを置いています。

Q.どのような人材を求めていますか？

人と関わる人が多い仕事ですので、誠実さや素直さを重視しています。また、常に自分を成長させようという意志を持った方、向上心のある方が来てくれたら嬉しいですね。スマートフォン等を扱う仕事ではありますが、時代の変化に合わせて仕事の内容も変化しています。最先端の仕事をしたい方にもぜひ来てほしいです。

Q.学生時代に経験してほしいことは？

友人との思い出作りです。学生時代の友人は、社会に出てからも何かと支えになります。長い付き合いになると思うので、たくさん思い出を作って、大切にしてほしいです。また、部活や趣味、勉強、遊び、何でもいいので、真剣に取り組んでもらいたいと思います。

Q.高卒採用を行う魅力、利点がありますか？

若い方の考え方や発想などを積極的に取り入れたいという思いがあります。

高校生へのメッセージ

「知識がないから」と思う方もいらっしゃると思いますが、最初はみんな初心者です。いきなり実践、ということはありません。安心して業務に取り組めるよう、育成面でのフォロー体制が充実しています。成長度合いに合わせた研修を通して、業務に必要な知識を身につけることができます。入社して約半年は、先輩スタッフとマンツーマンで業務を行っていくため、分からないことがあればすぐ相談できる環境です。

また、弊社は女性の活躍推進に関する取り組みが優秀な企業の認定「えるぼし認定(3つ星)」を受けています。県内で7社目、小売業では県内初となるもので、採用や継続的な就業率、労働時間等の働き方、管理職の比率、多様なキャリアコースなどを厚生労働省から認められていることを表わしています。社内制度や福利厚生面の面でも安心して働ける会社です。

株式会社Ring

熊本工場 工場長 牛島聡一さん(右)
総務課 城博美さん(左)
採用担当歴 約10年



Q.採用試験ではどのようなことをしていますか？

工場長や採用担当者による面接と書類で選考しています。現状として中小企業は、労働条件や知名度では大企業に敵いません。採用を希望する高校生も多くはいませんので、できるだけ入社を希望してくれる人、一人ひとりしっかりと向き合って採用したいと考えています。

Q.どのような人材を求めていますか？

求める人材像というよりも、入社を希望してくれた子が働きやすく、その子の良さを生かしていける環境づくりに取り組んでいます。Ringでは、入社してから定期的に個人面談をしています。1か月ごと、慣れてきたら2か月や3か月と定期的に行うことで、その人が困っていることなどにいち早く気付くことができ、より長く働いてもらうための環境づくりにつながっています。面談の際にはその人に合わせた簡単な課題も出しています。物事を解決する力を身につけ、より一層仕事にやりがいを感じてもらえるのではないかと考えています。

Q.高卒採用を行う魅力、利点がありますか？

これまで高卒で入社してくれた子たちを見ると、みんな教えたことをすぐ吸収して素直に受け入れてくれる子たちが多いと感じます。

高校生へのメッセージ

まずは自分のやりたいこと、夢や目標をもってもらうことが大事だと考えます。「いい車に乗りたい」でもいいです。何か目標があることで、人生も豊かになっていくのではないのでしょうか。当社は中国やカンボジア、フィリピンに工場があり、21歳の社員が昨年海外で活躍しています。海外に興味がある人にはぜひチャレンジしてもらいたいです。新しい工場が2023年夏頃和水町に誕生します。新工場では見学できるスペースも設け、ものづくりを身近に感じてもらうための仕掛けを準備しています。製造業というと、専門的な資格などが必要だと思われがちですが、実際は普通科出身の人や全く違う分野で学んできた人も多くいます。「熊本から世界へ一緒に日本品質を発信しましょう」ぜひ、見学に来てください。

九州オルガン針株式会社

監理部 総務課 総務係 係長代理 服部将太さん
採用担当歴 約7年



Q.採用試験ではどのようなことをしていますか？

試験では、一般常識を問う筆記試験と面接を行っています。面接は取締役等の会社役員や管理職が行います。話してくれる内容はもちろんですが、部屋に入ってきた時の表情や、話をしている時にどこを見ているかといった挙動にも注目し、その人の人柄を知ることが目的とされています。

Q.どのような人材を求めていますか？

勉強ができなくても、能力がずば抜けていなくてもいいです。やる気や向上心のある方が入社してくれたらうれしいです。コロナによる制限がなければ、普段は仕事以外のレクリエーションが多い会社なので、そういったことが好きな方、積極的な方だと、より社風に合うと思います。

九州オルガン針は若い役職者が多い会社です。最年少では、高卒12年で課長になった人もいます。向上心を持って取り組んでくれるような方を求めています。また奇抜なアイデアをお持ちの方も大歓迎です。

Q.学生時代に経験してほしいことは？

学生時代には、並大抵の努力では成しえないようなことを最後までやり遂げて欲しいです。それは勉強でも部活でも、文化祭等のイベント行事でも何でも構いません。何かひとつ、胸を張って言えるようなことを、ぜひ高校生活で経験してほしいです。

Q.高卒採用を行う魅力、利点がありますか？

高卒で入社することで、より長く会社で活躍してもらうことができます。また、地元の高校から採用することで、地元への地域貢献の面もあります。

高校生へのメッセージ

地元にもいい会社、やりがいのある仕事があるということをまずは知ってください。理想と現実が違うことは少なからずあると思います。その違いの溝を少しでも埋めるため、会社見学等を通して、実際に自分の目で、会社の雰囲気を知ることが大切だと思います。

仕事は将来の人生にも大きく関わってきます。ぜひ後悔のないように、様々なことに目を向けて、就職活動に励んでほしいです。

興亜建設工業株式会社

代表取締役社長 末吉 大吉さん
採用担当歴 約8年



Q.採用試験ではどのようなことをしていますか？

筆記試験(国語と数学)と作文、面接で選考しています。

Q.どのような人材を求めていますか？

採用担当として8年間見てきた中で実感しているのは、高校時代の3年間に部活など何かひとつのことに集中して取り組んできた子は、長く勤めているということです。ですので、高校生活で何か1つでも一生懸命になれたこと、打ち込んだことがあるという子が来てくれると嬉しいです。

また、工事は近隣住民の方の理解と協力が不可欠です。そのためには、普段からのあいさつや基本的なコミュニケーションがとれる人が望ましいです。

Q.学生時代に経験してほしいことは？

学校行事など、みんなで協力して目的を達成するようなことを経験してほしいです。この経験は実際に働き始めても生きてきます。仕事は1人ではできません。まわりの人とコミュニケーションをとって、チーム一丸となって壁を乗り越えてほしいです。

Q.高卒採用を行う魅力、利点がありますか？

大卒となると大手ゼネコンなどと競合になってしまい、就職希望者が集まらないことが多いです。時間も人も限られています。そこで地元の高校生にアプローチをして、高校生のうちから優秀な人材を発掘していきたいと考えています。地産地消ではありませんが、地域で育てた人材を大切に、ゆくゆくはその人たちに地域を盛り上げてもらいたいと考えています。

高校生へのメッセージ

専門知識や技術は、仕事をしていく日々の繰り返しの中で身につけてきます。だからこそ、高校生のうちから専門分野を学んでいないからと諦めたり、焦ったりする必要はありません。広い目で見て、様々な可能性を探ってください。興亜建設工業では、高校生から社会人になった人たちが環境の変化でストレスを感じないよう、しっかりとサポート体制でみなさんをお待ちしています。